

★★★第15回知的財産翻訳検定<第7回英文和訳>標準解答★★★

<<1級 電気・電子工学>>

問1.

1. ウェブコンテンツの情報源を検証するためにクライアント装置により実行される方法であって、

選択情報により指定される特定のドメインから利用可能なウェブコンテンツを得るように前記クライアント装置のブラウザを誘導するために、前記選択情報を受信するステップと、

前記特定のドメインに関係付けられたサーバに対する接続を確立するステップと、  
前記サーバに対応する証明書所有者と、前記所有者が操作を許諾された複数のドメインとに関する情報であって、前記サーバに対しての信頼性判定を可能とするに十分である前記情報を含む前記証明書を、指示された位置から取得するステップと、

前記サーバに対応する取得済の前記証明書が、前記選択情報により指定された前記特定のドメインを許諾するか否かの判定に少なくとも部分的に基づいて前記サーバが信頼性を有するか否かを判定するステップと、

前記サーバが信頼性を有するとの判定に基づき、前記サーバとの後続の通信を暗号化なしで可能とするステップとを含むことを特徴とする前記方法。

2. 前記サーバが、信頼性を有するとの判定に基づき、

前記証明書に含まれる前記証明書の前記所有者の実体名を確認するステップと、

前記ブラウザのユーザインターフェースにより前記特定のドメインと関連付けられた前記証明書の前記所有者の前記実体名を表示するように前記ユーザインターフェースを設定するステップとを更に含むことを特徴とする請求項1記載の方法。

問2.

マイクロエレクトロニクス産業において、将来のマルチプロセッサチップが数十または数百ものノードから構成され得ることを示す傾向がある。ノードはコアとも称される処理要素、または、キャッシュもしくはメモリ等の他の装置とすることができる。望ましい特徴は、オンチップの同報通信バスがチップ上の任意の1つのノードと他の全てのノードと間の通信を可能にすることである。原理的には、バスを駆動することができるノードであれば、当該バスにタップ接続する全ノードに、当該バスを介して情報を同報通信することができる。

ノードの数が増加すると、それに応じてバスを大きくしなければならない。同時に、ノ

ード自体の性能の向上は、バスの帯域幅の同程度の増加を必要とする。ノード総数が多くなるのに伴い、相互接続経路長も長くなり、その結果、より深刻な信号インテグリティ（品位）の低下及びチップ面積の増大につながる。このような要因は、ノード性能に一致させるために広い帯域幅が必要となることと相俟って、大規模なオンチップの電子同報通信バスの実装を実現不能にする。

このような制約を克服するために、階層的バスが提案された。しかしながら、一般的に、ほとんどの電気マルチコアプロセッサの解決策は、一対一の相互接続を好んで、完全に同報通信の相互接続を敬遠している。同報通信機能が必要な場合、同報通信メッセージは各コア用の等しい一対一のメッセージに分割される。

この機能は多くのシステムに有効であるが、冗長性があるので、余分な帯域及び電力を使用し、遅延を生ずる。

### 問 3.

以下の詳細な説明において当該説明の一部を構成する添付図面が参照される。当該添付図面には、例として本発明を実施することができる特定の実施形態が示されている。

本発明の実施形態によれば、追加情報を様々な試料媒体のバーコードに書き込むことができると共に、新しいマーキングの検知が可能でなくまたは可能にされていない従来の機器との下位互換性が提供される。1つの実施形態において、これは実質的に2つの情報層を有することにより達成される。第1の層は従来の可視バーコードとして現れる。この可視バーコードは従来の診断機器／バーコードスキャナにも適用できる方法で試薬ストリップの識別をするために用いることができる。第2の層は不可視（例えば、赤外または紫外）バーコードであり得る。この不可視バーコードは従来の機器／バーコードスキャナには実質的に不可視であり、新しいまたはアップグレードされた読取機器により読み取ることができる追加情報を含む。これにより高い解像度（例えば、より多くの情報）の記録が可能になり、当該情報を読み取ることができる機器が、より高密度のバーコード情報を利用できるようになる。また、コスト高なハードウェア及び／またはソフトウェアのアップグレードを回避または延期することができ、同時に、追加情報（例えば、試料媒体に関するキャリブレーション及びロット情報）を符号化することにより更なる利点がもたらされる。